

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪医科大学
設置者名	学校法人 大阪医科薬科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
医学部	医学科	夜・通信	2	0	178	180	19	0	
		夜・通信							
看護学部	看護学科	夜・通信		0		133	135	13	
		夜・通信							
(備考) 全学共通科目（「医療人マインド：1単位」「専門職連携医療論：1単位」） ※看護学部の専門科目単位数は「専門基礎科目」「専門科目」として担当している科目単位数を示す。									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>【医学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス(紙媒体)を学生・教員へ配付している。 ・本学WEBサイトで公表している(2020年度 全学年共通シラバス最終頁) https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/syllabus.html <p>【看護学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学WEBサイトで公表している(シラバス全学年 担当科目) https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪医科大学
設置者名	学校法人 大阪医科薬科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人大阪医科薬科大学 WEB サイト https://www.omp.ac.jp/about/board.html ・学校法人大阪医科薬科大学事業報告書 https://www.omp.ac.jp/about/vqh17r0000000smn-att/vqh17r0000000299m

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	平成 29. 6. 3 ～令和 3. 6. 2	
非常勤	元製薬会社取締役、 顧問	令和 2. 4. 1 ～令和 6. 3. 31	コンプライアンス
非常勤	保健指導医	平成 29. 11. 1 ～令和 3. 10. 31	
非常勤	公認会計士・税理士	平成 29. 11. 1 ～令和 3. 10. 31	財務
非常勤	弁護士	平成 30. 1. 1 ～令和 3. 12. 31	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪医科大学
設置者名	学校法人 大阪医科薬科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【医学部】</p> <p>医学部では、2020年度現在、第1～4年：新カリキュラム、第5～6年：旧カリキュラムとなっている。</p> <p>＝2020年度シラバス作成・公表にかかる例＝</p> <p>シラバスの作成方法に関するFDを開催、最終的に担当教員以外の第三者がチェックする仕組みを取り入れ作成している。作成時期は10月～2月、公開は4月～となっている。シラバスには、下記の項目を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法＝シラバス各科目ページに記載(授業計画と合わせて記載している) ・授業の内容＝シラバス各科目ページ「科目の概要」または「一般目標」、「授業計画」に記載 ・授業計画＝シラバス「授業時間割」および医学部 web システム(ユニバーサルパスポート)に記載 ・到達目標＝シラバス各科目ページ「科目のゴール」または「行動目標」、新カリキュラム進行学年においては「学習アウトカムと科目達成レベル」 ・成績評価の方法・基準＝「大阪医科大学学則」21条、「大阪医科大学医学部授業科目履修認定方法及び学習の評価・進級・卒業に関する細則」第6条およびシラバス各科目ページ「方略」「評価」参照 ・授業時間外に必要な学修(予習・復習)＝シラバス「授業時間割」および医学部 web システム(ユニバーサルパスポート)各科目において事前事後学習について記載 ・追再試件＝「大阪医科大学学則」22条に記載 <p>【看護学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目担当教員がシラバス作成要領に則り、授業の方法及び内容、年間の授業回数やスケジュール、到達目標、成績評価の方法等を記載した授業計画(シラバス)を1月～2月に作成する。 ・看護学教育センターでシラバス点検した上で、3月にホームページで公開する。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>【医学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス(紙媒体)を学生・教員へ配付している。 ・本学WEBサイト上でシラバスを公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/syllabus.html ・医学部 web システム(ユニバーサルパスポート)で公表している。 https://unipaweb01.osaka-med.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>【看護学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス(紙媒体)を学生・教員へ配付している。 ・本学 WEB サイト上でシラバスを公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/syllabus.html ・看護学部 web システム(ユニバーサルパスポート)で公表している。 https://unipaweb01.osaka-med.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【医学部】</p> <p>「成績評価の基準」については、「大阪医科大学学則」第 21 条、「大阪医科大学医学部授業科目履修認定方法及び学習の評価・進級・卒業に関する細則」第 6 条に掲載している。</p> <p>各科目の成績評価の方法・基準については、シラバス各科目ページ「方略」「評価」に記載している。</p> <p>また、各科目の到達目標については、シラバス各科目ページ「科目のゴール」または「行動目標」、新カリキュラム進行学年においては「学習アウトカムと科目達成レベル」に記載している。</p> <p>学生による満足度(学修成果など)については、「授業評価アンケート」「学勢調査」「eポートフォリオ」を通じて把握している。</p> <p>「授業評価アンケート」「学勢調査」「eポートフォリオ」の公開は下記のとおり。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/f2pjgc0000001xfk.html</p> <p>【看護学部】</p> <p>授業計画(シラバス)に記載された成績評価方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【医学部】</p> <p>①GPA等の客観的な指標の設定…「大阪医科大学学則」第 21 条に基づき指標を設定している。</p> <p><大阪医科大学 学則抜粋></p> <p>第 21 条 授業科目の履修の認定は、試験その他の評価により行う。</p> <p>2 評価は100点法によって行い、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、90点以上を秀(S)、80点以上89点以下を優(A)、70点以上79点以下を良(B)、60点以上69点以下を可(C)、59点以下を不可(D)と表示する。</p> <p>3 不合格となった授業科目については、再試験を行うことがある。</p> <p>4 試験及び評価の実施に関し必要な事項は、学部長が当該教授会の議を経て、学長に報告し、学長が決定する。</p> <p>第 21 条の 2 前条の評価に対してグレード・ポイント(以下、「GP」という。)を設定し、下記の計算式によりGPの平均値であるグレード・ポイント・アベ</p>	

<p>レージ（以下、「GPA」という。）を算出する。 $GPA = \{ (評価を受けた科目のGP) \times (当該科目の単位数) \}$ の累計 / 履修単位数の合計（Dの単位数を含む。） 2 成績の評価に対するGPは、Sが4点、Aが3点、Bが2点、Cが1点、Dが0点とする。</p> <p>②GPA等の客観的な指標の公表及び成績の分布状況の把握並びに評価の適切な実施状況 本学WEBサイト上でシラバスを公開すると共に(シラバス内に「学則」を掲載することでGPAについて明示している)、下記URLに抜粋を掲載している。また、GPA等の客観的な指標だけでなく、学年ごとの単年度GPA分布についても併せて公表している。 なお、学生個々のGPAについては、成績通知に掲載すると共に医学部webシステム(ユニバーサルパスポート)でも閲覧可能としている。 第1～5年生については、科目ごとのGP分布と学年GPA分布をIR室が提供している。GPA分布については、諸会議でも検証している。なお、第6学年生については、医学部という特性上、GPA評価ではなく、卒業にかかる各試験の重みづけを考慮した成績評価も用いており、各試験成績には医師国家試験に準じた領域別合格基準を定め判定を行っている。 ※2019年度の医学部カリキュラムの検証等については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、諸会議がメール審議になるなどしており、FDについても実施できていない。</p> <p>【看護学部】 ①GPA等の客観的な指標の設定 以下のとおり、GPAの算出方法を規定している。</p> $GPA = \frac{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数}} \quad (\text{小数点第3位を四捨五入})$ <p>分母は、総履修登録単位数とし、不可(D)となった科目の単位数を含む。 ※他大学で取得した単位互換科目、認定科目および卒業要件とならない科目は、GPAの算出から除外する。</p> <p>②GPA等の客観的な指標の公表及び成績の分布状況の把握並びに評価の適切な実施状況 GPAの算出方法は「履修のてびき」に記載し、学生・教員に配付している。また、併せて本学WEBサイト上でGPAの算出方法を公表している。 各学年のGPAの分布については、本学WEBサイト上で公表している。 なお、GPAの分布については、カリキュラム検証に活用している。</p>	<p>【医学部】 ①GPAの公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学WEBで公開しているシラバス上の学則で明示している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/syllabus.html 本学WEBサイト上でGPAの算出方法を公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/gpa.html
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【医学部】 ①GPAの公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学WEBで公開しているシラバス上の学則で明示している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/syllabus.html 本学WEBサイト上でGPAの算出方法を公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/gpa.html

	<p>②学年ごとの単年度 GPA 分布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学 WEB サイト上で GPA の分布状況を公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/gpa2018.html <p>【看護学部】</p> <p>①GPA の公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修のてびき上に算出方法を記載している。 ・本学 WEB サイト上で GPA の算出方法を公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/gpa.html <p>②学年ごとの単年度 GPA 分布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学 WEB サイト上で GPA の分布状況を公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/gpa2018.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【医学部】</p> <p>①卒業の認定に関する方針の策定・公表</p> <p>下記のとおりディプロマポリシーを策定しており、本学 WEB サイト上で公表している。</p> <p><u>ディプロマポリシー(学位授与の方針)</u></p> <p>建学の精神「至誠仁術」に則り、種々の活動を通じて強い倫理観、責任感、および指導力を涵養しつつ、医学を中心とした諸科学の知識を身につけ、医師や医学研究者としての資質と能力を将来にわたって発揮できる人材の育成を目指しています。必要な所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した学生に対して卒業を認定し、学士(医学)を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理とプロフェッショナリズム 高い倫理性と誇りをもって、自己管理能力とリーダーシップを有し、他者に敬意をもって接することができる。 2. 医学・科学的知識 医学における科学的知識について十分に理解し、診療や研究に活用できる。 3. 実践的診療能力 統合された医学・科学的知識、技能に基づいて、高い倫理観を有し、患者に敬意と思いやりをもって、医療行為を実践できる。 4. 自律的探求能力 医師や医学研究者としての能力の向上を目指し、生涯にわたって自ら学習することができる。 5. 多職種連携とコミュニケーション 他の医療職の立場や考え方を理解、尊重しながら自分の考えを伝え、チーム医療において良好な人間関係を構築することができる。 6. 医療の社会性 医療の社会性に関する基本的な知識を身につけ、限られた資源を有効に活用しながら、適切な判断に基づく医療を実践できる。 7. 医療の国際性 外国語表現力を身につけ、海外の医療者・研究者や患者とコミュニケーション 	

を取ることができる。

②適切な実施に係る取組み

本学医学部では、ディプロマポリシーの下部にコンピテンシーズを設定し、新カリキュラム進行学年においては、各科目の到達目標とコンピテンシーズを結び付ける「レベルマトリクス」を導入しており、個々の授業科目と、ディプロマポリシーとの結びつきを明確にしている。

また、アセスメントポリシー(学修成果の把握に関する方針)制定以後、学習成果を評価するための的確なアセスメント項目を設定するとともに、設定した学習成果を生み出しているかの点検と評価を行っている。その結果を踏まえて、さらなる教育の充実と学習成果向上のための改善に取り組む体制を構築している。

【看護学部】

①卒業の認定に関する方針の策定・公表

下記のとおりディプロマポリシーを策定しており、本学 WEB サイト上で公表している。

ディプロマポリシー(学位授与の方針)

卒業までに所定の単位を修得し、下記の能力を有する者に、学士(看護学)の学位を授与します。

1. 生命の尊厳を守り、人権を尊重し、多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を尊重した行動をとることができる。
2. 多面的かつグローバルな視点から看護に関する課題を探究し、新しい知識や技術の創造に取り組むことができる。
3. 看護学に関する基本的な専門的知識と技術を身につけ、個別の健康課題に対し、ライフステージや健康状態等を考慮した看護を実践することができる。
4. 地域社会における健康課題を把握し、多職種と連携し協働する必要性と方法を理解して、多様な課題の解決に取り組むことができる。
5. 自らのキャリア形成をみすえて、向上心をもって自己研鑽し続けることができる。

②適切な実施に係る取組み

- ・ディプロマポリシー(学位授与の方針)や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
- ・4年以上在学し、学則第18条「教育課程及び履修方法」に定める所定の単位を修得した者に対し、看護学部教授会の議を経て看護学部長が卒業を認定し、学長が決定のうえ学士(看護学)の学位を授与している。なお、卒業要件については、学則のほか、履修規程や「履修のてびき」に明示し、WEB サイトでも公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

【医学部】

- ・本学 WEB サイトで公表している。
<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/policy.html>

【看護学部】

- ・本学 WEB サイトで公表している。
<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪医科大学
設置者名	学校法人 大阪医科薬科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html
財産目録	https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html
事業報告書	https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html
監事による監査報告(書)	https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度事業計画(「事業報告書2018」内)、対象年度:2019年度)
公表方法:WEBサイト(https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html)、紙媒体
中長期計画(名称:中(長)期事業計画2019-2025、対象年度:2019年度-2025年度)
公表方法:WEBサイト(https://www.omp.ac.jp/about/disclosure.html)、紙媒体

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学WEBサイト上で自己点検・評価報告書を公開 https://www.osaka-med.ac.jp/about/evaluation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学WEBサイト上で自己点検・評価報告書を公開 https://www.osaka-med.ac.jp/about/juaa.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 医学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイト上で公開している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/policy.html ）
（概要） 【使 命】 本学は、寄附行為の目的に基づき、人類の健康と福祉の維持向上に役立ち、国際的視野を持つ最良の医療専門職、教育者、あるいは研究者として活躍する人材の育成を使命とする。（学則第 1 条） 【教育目的】 本学は、豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材、及び地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材を育成するための教育を実践する。（学則第 5 条） 【教育目標】 1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本に、人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する。 2. 多様な人材と共同し、医学や医療の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する。 3. 科学的知識と倫理的判断に基づき、疾病および治療に関する専門知識、情報や技術を効果的に活用した医療が実践できる能力を育成する。 4. 医師として地域社会の特性を学び、多職種と連携し協働してさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公開している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/policy.html ）
（概要） 卒業の認定に関する方針としてディプロマポリシー（学位授与の方針）を定めている。 <u>ディプロマポリシー（学位授与の方針）</u> 建学の精神「至誠仁術」に則り、種々の活動を通じて強い倫理観、責任感、および指導力を涵養しつつ、医学を中心とした諸科学の知識を身につけ、医師や医学研究者としての資質と能力を将来にわたって発揮できる人材の育成を目指しています。必要な所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した学生に対して卒業を認定し、学士(医学)を授与します。 1. 倫理とプロフェッショナリズム 高い倫理性と誇りをもって、自己管理能力とリーダーシップを有し、他者に敬意をもって接することができる。 2. 医学・科学的知識 医学における科学的知識について十分に理解し、診療や研究に活用できる。 3. 実践的診療能力 統合された医学・科学的知識、技能に基づいて、高い倫理観を有し、患者に敬意と思いやりをもって、医療行為を実践できる。 4. 自律的探求能力 医師や医学研究者としての能力の向上を目指し、生涯にわたって自ら学習することができる。

5. 多職種連携とコミュニケーション
他の医療職の立場や考え方を理解、尊重しながら自分の考えを伝え、チーム医療において良好な人間関係を構築することができる。
6. 医療の社会性
医療の社会性に関する基本的な知識を身につけ、限られた資源を有効に活用しながら、適切な判断に基づく医療を実践できる。
7. 医療の国際性
外国語表現力を身につけ、海外の医療者・研究者や患者とコミュニケーションを取ることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公開している。
<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/policy.html>）

（概要）

教育課程の編成及び実施に関する方針として、カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）を定めている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

6 年一貫教育を通じて、良き医療人としての人間性と自ら積極的に学び問題を解決する姿勢を身につけ、国際的にも通用する専門的な知識と技能を修得できるよう、以下のカリキュラムを編成します。大阪医科大学の特色として、自ら学ぶ姿勢を育てるため、少人数教育や課題発見解決型の講義や演習を導入しています。また、十分な自学自習時間を確保するとともに、ICT（情報通信技術）を活用した能動学習を実施しています。

1. 初年次教育
普遍教養科目や専門基礎科目の講義、セミナー、実習を通して、医療と研究を行うために必要な知識、態度、技術を身につけます。また、一人ひとりに合った学習法を個別に指導するため、初年次は特に手厚く担任を配置しています。
2. 基礎医学教育
基礎医学科目の講義と実習を通して、人体の構造と機能について学び、臨床医学に活用できる体系的な知識を身につけます。
3. 社会医学・臨床医学教育
社会医学の講義と実習、臨床医学の講義と演習を通して、医療経済、医療保険、医療法規などを学びながら、代表的な疾患の病態、診断、治療についての知識を身につけます。科目は、臓器別・ライフステージ別のユニット・コース制の統合型カリキュラムを採用し、「生きた知識」「使える知識」の習得を目指して、課題発見解決型の講義や演習を多く取り入れています。
4. 臨床実習
臨床実習の前半（コア・クリニカル・クラークシップ）では、大学病院の各診療科において実習を行います。それに続くアドバンスト・クリニカル・クラークシップでは、主に地域の医療機関で臨床実習を行います。これらの実習を通して、医療の現場を教室として患者から学ぶことにより、実践的な診療能力を獲得することを目指します。
5. 医療プロフェッショナルリズム
早期体験実習から参加型臨床実習を通して、医療の全体的な流れを体験的に学びつつ、医療人に必要な倫理性やチーム医療でのコミュニケーション能力等を身につけます。また、地域医療実習などを通して、医療人として地域固有の課題を見つけ解決することを学びます。
6. 語学・国際交流
語学コースを通して、医療面接や海外との情報受発信に必要な英語力を身につけます。また、中山国際医学医療交流センターを通じて交換留学生と交流し、異文化についての理解を深めるとともに、国際性豊かな医療人を育成します。さらに、

希望者は海外の提携校での実習に参加することができます。

7. 学生研究

リサーチマインドと自律的探求能力を段階的に習得し、医学研究者とともに研究し成果を発表する機会を提供するため、6年間を通して学生研究のコースが設定され、特に3年次には十分な学生研究期間が設けられています。また、希望する学生は、学生研究員制度を利用し、どの学年からでも研究室に所属し、さらに深く研究を行うことができます。

8. 多職種連携

多職種よりなるチーム医療を実践する能力を身につけるため、医看融合教育を含む、他学部の学生とともに学び討論する教育を行います。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公開している。

<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/policy.html>）

（概要）

入学者の受入れに関する方針として、アドミッションポリシー（入学受入の方針）を定めている

アドミッションポリシー（入学受入の方針）

本学は、昭和2年（1927年）に開設されて以来、約9000人の医学部医学科卒業生を送り出しており、建学の精神「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで完成する」と学是「至誠仁術」をもとに、今後さらに発展していくことを目指しています。その建学の精神を具現化した教育目的は、「豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材、及び地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材を育成する」ことです（学則第5条より抜粋）。

求める学生像

本学は、6年間のカリキュラムの履修を通して、教育目的に掲げた医師や医学研究者を育成するため、次のような資質をもつ人材を求めています。

1. 医学を学ぶ明確な目的と意欲をもっている人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力、応用力、思考力、判断力、表現力をもっている人
3. 人に対する思いやりと豊かな人間性、および高い倫理性をもっている人
4. 他の人の意見を尊重し、コミュニケーション能力を涵養できる人
5. 知的好奇心と探究心をもって、自ら生涯にわたり課題の発見と解決に取り組むことのできる人
6. 柔軟な思考ができ、多様化と国際化に向かう現代社会に適応できる人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学で医学を学ぶためには、全人的な素養を身につけていることに加え、次の教科・科目について幅広い基礎学力と応用力を身につけていることが望まれます。

1. 数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについての理解、数学的・論理的に思考し表現する能力
2. 理科：物理、化学、生物についての知識、科学的知識・思考にもとづいた判断力と探求心
3. 外国語：英語についての読解力・表現力と英語による基礎的なコミュニケーション能力
4. 国語：日本語文章の読解力・構成力、および日本語による表現力
5. 地理歴史・公民：世界史B、日本史B、地理B、現代社会、倫理、政治・経済についての基礎的な知識

入学者選抜の基本方針

本学では「求める学生像」に沿った人材を選抜するため、一般入学試験とセンター試験利用入学試験、および「建学の精神」入試を実施しています。

1. 一般入学試験（前期・後期）

数学・理科・英語の学力試験により基礎学力、思考力、応用力を評価するとともに、調査書、小論文、および面接により意欲、資質、表現力を見極め、総合的な評価・判定により合格者を決定します。

2. センター試験利用入学試験

大学入試センター試験により数学・理科・英語・国語・地理歴史と公民についての基礎学力を評価するとともに、調査書、小論文、および面接により意欲、資質、表現力を見極め、総合的な評価・判定により合格者を決定します。

3. 「建学の精神」入試（専願制）

調査書、推薦書、志望理由書、複数回の面接、および小論文により、これまでのさまざまな活動、資質、表現力を見極めるとともに、基礎学力については大学入試センター試験の数学・理科・英語・国語・地理歴史と公民の結果を参考にして、総合的な評価・判定により合格者を決定します。なお、「建学の精神」入試（専願制）では、本学の建学の精神に賛同し、「是非とも大阪医科大学において学びたい」という明確な意志を持っていることを重視します。

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部

教育研究上の目的（公表方法：本学WEBサイト上で公表している。

<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/policy.html>）

（概要）

【使 命】

本学は、寄附行為の目的に基づき、人類の健康と福祉の維持向上に役立ち、国際的視野を持つ最良の医療専門職、教育者、あるいは研究者として活躍する人材の育成を使命とする。（学則第1条）

【教育目的】

本学は、豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材、及び地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材を育成するための教育を実践する。（学則第5条）

【教育目標】

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本に、多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する。
2. 多様な人材と共同し、看護学や看護の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する。
3. 科学的知識と倫理的判断に基づき、専門知識や技術を効果的に活用した看護実践ができる能力を育成する。
4. 地域社会の状況と変化を学び、多職種と連携し協働して人々のさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する。
5. 看護職として専門能力を自律的に探求し、継続的に発展させる基本的姿勢を育成する。

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/policy.html）</p>
<p>（概要） 卒業の認定に関する方針としてディプロマポリシー（学位授与の方針）を定めている。</p> <p><u>ディプロマポリシー（学位授与の方針）</u> 卒業までに所定の単位を修得し、下記の能力を有する者に、学士（看護学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳を守り、人権を尊重し、多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を尊重した行動をとることができる。 2. 多面的かつグローバルな視点から看護に関する課題を探究し、新しい知識や技術の創造に取り組むことができる。 3. 看護学に関する基本的な専門的知識と技術を身につけ、個別の健康課題に対し、ライフステージや健康状態等を考慮した看護を実践することができる。 4. 地域社会における健康課題を把握し、多職種と連携し協働する必要性と方法を理解して、多様な課題の解決に取り組むことができる。 5. 自らのキャリア形成をみすえて、向上心をもって自己研鑽し続けることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/policy.html）</p>
<p>（概要） 教育課程の編成及び実施に関する方針として、カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）を定めている。</p> <p><u>カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）</u> 教育目標に沿った人材育成のため、基礎科目、専門基礎科目、専門科目を積み上げる科目構成としています。</p> <p>基礎科目は、看護の対象となる人間そのものへの理解を深める「人間理解」、その人間の生活の場である社会への理解を深めるための「社会理解」、多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を理解するための「異文化理解」に分けて科目を配置しています。</p> <p>専門基礎科目は、看護に必要な科学的知識や医療に関する理解を得るため、「人体の構造と機能」、「病気と治療」、「保健と医療」の諸科目を配置しています。</p> <p>専門科目は、看護実践能力を有する人材の育成に必要であり、まず同能力の基礎となる「看護の基盤」、次に応用するための「療養生活支援」および「地域家族支援」を配置しています。さらに実践するための「統合」科目を配置し、段階的な学習に配慮しています。</p> <p>保健師あるいは助産師の国家資格取得希望者には、各受験資格に必要な科目を選択できるように配置しています。一方、同希望者以外には、看護師に特に求められる実践能力をさらに高める選択科目として「看護実践発展」科目を設置しています。</p> <p>授業の実施方策としては、①講義、演習、実習を通して、学生と教員による積極的な双方向型の授業、②自律性、論理性、創造性を育む「課題発見型学習」、「体験型学習」、③看護学実習や卒業演習（卒業論文作成）を通じての個別指導等の多様な教育方法の展開を図っています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイト上で公表している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/policy.html）</p>
<p>（概要） 入学者の受入れに関する方針として、アドミッションポリシー（入学受入の方針）を定めている</p>

アドミッションポリシー(入学者受入の方針)

求める学生像

看護学部では、教育目的に沿った人材を育成するため、次の学生を求めます。

1. 人間の健康と生活の営みに関心のある人
2. 他者の気持ちや立場を理解し、思いやりをもってかかわることができる人
3. 看護学を学ぶうえで基盤となる基礎学力と応用力をもっている人
4. 他者とコミュニケーションをとり協力して行動できる人
5. 研究心をもち、自ら課題を見出して学ぶ意欲のある人
6. 看護学を学び、地域社会及び国際社会に貢献したい人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

看護学部では、入学までに高等学校等において、看護学を学ぶうえで基盤となる基礎学力と応用力のうち、特に次の教科・科目に関する能力や態度を身につけておくことが必要です。

1. 国語については、読解力、表現力、文章構成力
2. 数学については、「数学Ⅰ」「数学A」の知識に加え、論理的思考力
3. 理科については、「化学基礎」「生物基礎」の知識に加え、科学的思考力と探求力
4. 英語については、読解力、表現力に加えて、国際社会の人々と自らコミュニケーションを図ろうとする力
5. 地理歴史・公民については、世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政治・経済の基礎知識に加え、国際人として良識ある行動がとれる力

入学者選抜基本方針

看護学部では、人材育成の目的を達成するため、学士力(①知識・理解：文化、社会、自然等、②汎用的技能：コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等、③態度・志向性：自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等、総合的な学習経験と創造的思考力)を身につけた看護職者を育成し、4年間で看護師国家試験、さらに保健師と助産師を選択した学生に各々の国家試験に合格するように教育します。入学者の選抜方法として、推薦入学試験(専願制、併願制)、一般入学試験、一般入学試験(センター利用)を実施しています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学WEBサイト上で公表している。

<https://www.osaka-med.ac.jp/class/index.html>

<https://www.osaka-med.ac.jp/about/pr/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数(本務者)

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
医学部	—	54人	40人	71人	257人	0人	422人
看護学部	—	13人	10人	6人	11人	0人	40人

b. 教員数(兼務者)

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	331人	331人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：大学WEBサイト上で公開している。 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/index.html#hdg6 https://www.osaka-med.ac.jp/research/index.html
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)	
大学WEBサイト上で公開している(教育関連FD)。 https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/medical_education_center/index.html	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部 医学科	112人	112人	100%	672人	691人	102.8%	0人	0人
看護学部 看護学科	85人	89人	104.7%	340人	348人	102.4%	0人	0人
合計	197人	201人	102%	1,012人	1,039人	102.7%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部 医学科	99人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	99人 (100%)
看護学部 看護学科	84人 (100%)	2人 (2.4%)	81人 (96.4%)	1人 (1.2%)
合計	183人 (100%)	2人 (0%)	81人 (44.3%)	102人 (55.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) <看護学部看護学科>大阪医科大学病院				
(備考) <医学部医学科 卒業生内訳>初期臨床研修医：99名 (100%)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
医学部 医学科	110人 (100%)	90人 (81.8%)	16人 (14.5%)	4人 (3.6%)	0人 (0%)
看護学部 看護学科	85人 (100%)	80人 (94.1%)	3人 (3.5%)	2人 (2.4%)	0人 (0%)
合計	195人 (100%)	170人 (87.2%)	19人 (9.7%)	6人 (3.1%)	0人 (0%)
(備考) 医学部医学科：留年経験後に中途退学をした学生は中途退学者数にのみ計上し、留年者数には計上していない。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

【医学部】

医学部では、2020年度現在、第1～4年：新カリキュラム、第5～6年：旧カリキュラムとなっている。授業科目、授業の方法については、様式第2号の3にも記載したとおりシラバスに掲載している。

＝2020年度シラバスにかかる例＝

- ・授業方法＝シラバス各科目ページに記載(授業計画と合わせて記載している)
- ・授業の内容＝シラバス各科目ページ「科目の概要」または「一般目標」、「授業計画」に記載
- ・授業計画＝授業時間割としてシラバスに記載
- ・本学WEBサイト上でのシラバス公開

【看護学部】

科目担当教員がシラバス作成要領に則り、授業の方法及び内容、年間の授業回数やスケジュール、到達目標、成績評価の方法等を記載した授業計画(シラバス)を1月～2月に作成する。授業計画(シラバス)に記載された成績評価方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

【医学部】

学修成果に係る評価基準…「大阪医科大学学則」第21条および「大阪医科大学医学部授業科目履修認定方法及び学習の評価・進級・卒業に関する細則(別表)」に基づき指標を設定している。

<学則抜粋>

第21条 授業科目の履修の認定は、試験その他の評価により行う。

2 評価は100点法によって行い、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、90点以上を秀(S)、80点以上89点以下を優(A)、70点以上79点以下を良(B)、60点以上69点以下を可(C)、59点以下を不可(D)と表示する。

3 不合格となった授業科目については、再試験を行うことがある。

4 試験及び評価の実施に関し必要な事項は、学部長が当該教授会の議を経て、学長に報告し、学長が決定する。

第21条の2 前条の評価に対してグレード・ポイント(以下、「GP」という。)を設定し、下記の計算式によりGPの平均値であるグレード・ポイント・アベレージ(以下、「GPA」という。)を算出する。

$$GPA = \{ (\text{評価を受けた科目のGP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \} \text{の累計} / \text{履修単位数の合計 (Dの単位数を含む。)}$$

2 成績の評価に対するGPは、Sが4点、Aが3点、Bが2点、Cが1点、Dが0点とする。

<大阪医科大学 医学部授業科目履修認定方法及び学習の評価・進級・卒業に関する細則抜粋>

(履修の認定及び進級)

第12条 授業科目の履修の認定は、学則別表1に掲げる授業科目ごとに当該担当教員が総合的に行う。

2 各第1～第6学年次の学年末において、第1～第2学年次は単位未修得者、第3

～4 学年次及び第 6 学年次は単位未修得者、統合的な試験の不合格者、第 5 学年次は単位未修得者、統合的な試験の不合格者、クリニカルクラークシップ総合評価不合格者、以上の者は次の学年次に進級することができない。

3 前項の定めにより進級できなかった者が留め置かれる学年次及び学期は、次の各号のとおりとする。

(1) 第 1 学年次から第 5 学年次においては、当該学年次に留め置く。

(2) 第 6 学年次においては、第 6 学年次に留め置く。(卒業判定がなされた時から臨床実習に参加することができる。)

第 13 条 前条第 2 項の規定によりそれぞれの年次に留め置かれた者は、第 1～2 学年次では、当該学年次でみとめられなかった授業科目を、第 3～6 学年次では、当該学年次に履修しなければならない全ての授業科目の授業科目を再履修し、合格しなければ次の学年次に進級することができない。

(成業の見込のない者)

第 14 条 学則第 7 条第 1 項の在学年数を超える者は、学力劣等で成業の見込がないと認められる者とみなす。

【看護学部】

授業計画（シラバス）に記載された成績評価方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	239.0 単位 (医学部 2020 年度入学者) ※新カリキュラム	有・無	単位
		単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	127 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学 WEB サイトで公表している。 ①GPA の公表 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/gpa.html https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/gpa.html ②学年ごとの単年度 GPA 分布 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/gpa2018.html https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/gpa2018.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学 WEB サイトで公表している。 ①医師国家試験結果 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/exam.html ②看護師・保健師・助産師国家試験結果 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/exam.html ・「授業評価」「学勢調査」結果 https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/f2p.jgc0000001xfk.html https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/f2p.jgc0000006r8h.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 WEB サイトで公表している。

<https://www.osaka-med.ac.jp/about/disclosure.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
医学部	医学科 (1年次)	1,880,000円	1,000,000円	3,605,000円	
	医学科 (2～6年次)	1,880,000円	－円	3,105,000円	
看護学部	看護学科	1,100,000円	300,000円	500,000円	
	看護学科 (4年次保健師)	1,100,000円	－円	600,000円	
	看護学科 (4年次助産師)	1,100,000円	－円	800,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【医学部】</p> <p><u>医学教育センター</u> ※本学 WEB サイトから抜粋 https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/medical_education_center/index.html 医学教育センターは平成15年に設置され、医学教育の企画と実行を使命としています。教育プログラムの作成、学生の教育効果の測定、教員の能力向上、教育に関する評価、教育に関する研究の推進などの事項を審議して実施しています。医学教育センターには、カリキュラム委員会、OSCE 実行委員会、ITプロジェクト委員会などが設置され、大学の教育戦略会議、医学部教授会、IR 室、カリキュラム評価委員会等との緊密な連携のもとに、本学の医学教育の充実、発展に向けて活動しています。</p> <p>医学教育の環境は日々大きく変化を続けています。本学においては学修成果(アウトカム)基盤型教育への転換を目指し、アクティブ・ラーニングを導入して医学教育改革を推進しています。2017年の第1学年より開始された新カリキュラムでは、卒業時に求められる学修基準(コンピテンス/コンピテンシー)を設定し、それを達成するために、授業科目の水平的、垂直的な統合を行い、6年間一環教育プログラムとして、医療プロフェッショナルリズム、学生研究、国際言語文化交流などを設けました。今後は新カリキュラムについて情報の収集と分析を行い、教育プログラムへのフィードバックを計画的かつ継続的に実行して、本学の医学教育の更なる発展に繋げることが求められます。また、看護学部、薬学部はもとより、工学部など他の学際領域や海外との交流・単位互換などをさらに充実させることも重要と思われれます。医学教育のグローバルスタンダードを保ちながら、本学に特徴的なプログラムを構築することを目指します。</p> <p>課題は山積していますが、本学の建学の精神・学是とそれに基づいた教育目標を達成するために、本学の教職員と学生が一緒になって最適な教育を実現することを目指して、医学教育センターは一層活発にまた着実に活動していきたいと思ひます。</p> <p>ご指導、ご支援を賜りますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p><u>医学学生生活支援センター</u> ※本学 WEB サイトから抜粋 https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/medical_support_center/index.html</p> <p>医学学生生活支援センターは、医学部のカリキュラムに関連する問題以外の学生生活全般についての助言と支援を行います。</p>
--

具体的には、課外活動支援、奨学生選考、日常生活や健康維持に関する相談、各種ハラスメントへの対応などを行っています。なかでも個人への支援は、本人から相談があってはじめて支援を始めることができますが、内容によっては相談しにくいことも多いと思います。そこで、学生が気軽に相談できる窓口として、新入生には教員1名が学生8～10名程度を担当する学年担任制を導入しており、上級学年では医学教育センターにおいてメンター制度を設けています。

担任以外でも保健管理室の臨床心理士も相談窓口となっています。女性ですから、同性で話し易いかもかもしれません。もちろん、男性からの相談も大歓迎です。解決困難な問題や悩みもありますが、少なくともこころの支援が得られ、相談するだけでも気持ちが楽になり、問題解決への糸口が見つかるかもしれません。

医学学生生活支援センターは、学生諸君が学内・外でストレスなく生活するためのサポート体制の整備と雑念を払い日々の勉学・実習に集中できる環境づくりに鋭意取り組んでいます。是非、気軽に相談にきて医学学生生活支援センターを利用してください。

【看護学部】

看護学教育センター ※本学 WEB サイトから抜粋

https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/nursing_education_center/index.html

看護学教育センターは、看護学部の教育課程が円滑に進められるように教育計画、教育環境整備、医看融合教育、授業評価、FD(Faculty Development)等に関する事項の企画・調整・実施・評価を行う役割を担っています。

看護学学生生活支援センター ※本学 WEB サイトから抜粋

https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/nursing_support_center/index.html

看護学学生生活支援センターでは、一人ひとりがいきいきと健康で充実した学生生活を送ることができるために、学生生活全般についての相談に応じるとともに、チューター制(一学年学生8人に対して教員2～3名が支援・相談の窓口にあたる)を導入しています。経済的に安心して学業に取り組むことが出来るための奨学金の相談の窓口役になるのも本センターの役割です。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

【医学部】

医学教育センター ※本学 WEB サイトから抜粋

https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/medical_education_center/index.html

※学生の修学に係る支援に関する取組に同じ

医療総合研修センター ※本学 WEB サイトから抜粋

医療総合研修センターは、臨床研修室、医療プロフェッショナル支援室、医療技能シミュレーション室の3室にて構成されており、今後の大阪医科大学の将来を左右する重要な部署です。現在、大学附属病院が中核となり、そのまわりに教育病院群を構成して、学生の臨床実習、臨床研修、専門研修を含めた一貫した医師教育制度の構築が求められています。そして、臨床研修医には明確な到達目標が定められるとともに許容される医療行為の範囲内において積極的に学ぶことが提唱されています。

さらに、これまで各学会が認定していた専門医制度は、第三者機関である日本専門医機構が設置され、より中立で客観的な専門研修が行われようとしています。本学(大学病院)と教育病院群との調整を担う部署がこの医療総合研修センターであり、早急な対応が求められています。行政や医師会および他大学、教育病院群、関連企業との積極的な連携を進めることで、専門医取得にむけてのサポートを実践します。

また、医師や看護師で一時職を離れた人の復職支援を援助する体制を構築します。本

学の卒業生だけではなく他大学からも、本学での臨床研修・後期研修の希望者が増加するように努力し、教育病院群を含めた専門医教育を広げて、早期により多くの医師が、高度な実力を習得した専門医資格を取得できるように頑張っていきたいと考えております。

【看護学部】

就職支援委員会 ※本学 WEB サイトから抜粋

<https://www.osaka-med.ac.jp/campuslife/nursing/support.html>

○就職支援委員会の活動について

看護学部生の就職活動の支援を目的として当委員会が発足しました。

活動内容としては学生が各自の希望、能力、家庭および地理的状況などに最適な就職やキャリアを得られるよう下記の情報収集と提供および調査を5名の委員で実施しております。

○就職支援委員会の主な活動

- ・就職関連情報の収集に関する事項
学生からのアンケート、本学附属病院による就職ガイダンス、学外施設の就職担当からの情報提供など
- ・就職関連情報の閲覧と提供に関する事項
新設されたキャリアサポートルームに全国からの就職情報を年度別・地域別に保管、開校時間内は自由に活用可
- ・就職支援およびキャリア支援の個別相談に関する事項
随時、5名の委員で個別相談を担当
- ・就職活動の実態調査に関する事項
就職試験に関する諸状況および就職先の調査

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

【医学部】・【看護学部】

保健管理室

- ・大学 WEB サイト https://www.osaka-med.ac.jp/campuslife/nursing/guide/guidance_3.html#001
- ・保健管理室 WEB サイト
<https://office.osaka-med.ac.jp/hcs/>

保健管理室は学生、及び教職員の保健管理業務を行う施設として、総合研究棟1階に設置されています。在学生に対して心身の健康に関する問題が就学の妨げとなることを未然に防止するため、健康の保持促進、疾病の早期発見や予防を目的とし、健康診断や健康相談等の業務を行っています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 WEB サイト上で公表している。

- ・教育活動
<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/medical/index.html>
<https://www.osaka-med.ac.jp/faculty/nursing/index.html>
- ・教育関連 FD 活動
https://www.osaka-med.ac.jp/about/organization/medical_education_center/index.html
- ・研究活動
<https://www.osaka-med.ac.jp/research/index.html>